

—ONWARD—

2025年2月期（2024年度）第1四半期

決算説明資料



2024年7月4日

株式会社 オンワードホールディングス

オンワードホールディングスで、今年度から財務、経理、IRを担当させていただくこととなりました吉田でございます。

当社グループの事業にご関心を普段よりお寄せいただき、この場をお借りいたしまして、心より御礼を申し上げます。

本日は2025年2月期、第1四半期決算についてご説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ
ヒトと地球に潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により
地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』として前に進み続ける



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	P4
02	2024年度1Q 連結実績	P7
03	2024年度上期・通期 連結業績予想	P11
04	TOPICS	P14
05	補足資料	P20



01

連結実績および
連結業績予想ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
514 億円	51 億円	52 億円	40 億円
前年同期比 +2.9% +15億円	前年同期比 Δ 5.7% Δ 3億円	前年同期比 +6.9% +3億円	前年同期比 +20.1% +7億円

- 1Q期間の売上高は、気候変動に対応した新規企画商品の販売が好調だったことや、OMOサービス「クリック&トライ」の利用が引き続き拡大したことなどから、前年同期比で2.9%の増収となった。
- 特に新規ブランドのUNFILOが74.2%の増収、KASHIYAMAが37.4%の増収、チャコット・コスメティクスが17.6%の増収と大幅に伸長した。基幹ブランドも、23区が2.6%の増収、J.PRESSが6.4%の増収、ペットパラダイスが10.3%の増収となるなど、引き続き堅調に推移した。
- 商品在庫水準の適正化を計画的に進めた結果、1Q期間の売上総利益率は1.4%低下した。賃上げの実施による人件費の増加や広告宣伝費などの増加を、ブランド複合店の拡大による店舗運営の効率化などで補った結果、販管費率は0.4%改善した。
- 大和の会計基準変更の一時的な影響や、卸売事業を中心としたヨーロッパ事業の苦戦もあり、1Q期間の営業利益は5.7%の減益となったが、持分法適用関連会社の業績が好調に推移したことなどから、経常利益は6.9%の増益、当期純利益は20.1%の大幅増益となった。

まず5ページの連結実績ハイライトをご覧ください。

2024年3月から5月の3カ月間の売上高は514億円、前年同期比で2.9%、15億円の増収となりました。3月の低気温の影響もありましたが、気候変動に対応した新規企画商品が好調なことや、OMOサービス「クリック&トライ」の利用が継続的に拡大し、増収に寄与しました。

ブランド事業

ONWARD

UNFILO 【オンワード樫山】

定番素材を使用した商品群に加え、新規企画商品が売上を牽引。



1Q売上高
(前年同期比) + 74.2%

23区 【オンワード樫山】

トレンド性の高いアイテムが高稼働。



1Q売上高
(前年同期比) + 2.6%

KASHIYAMA 【オンワードパーソナルスタイル】

デジタル広告によるプロモーション施策により、新規顧客が増加。



1Q売上高
(前年同期比) + 37.4%

J.PRESS(メンズ・レディス) 【オンワード樫山】

主力商品の投入強化によりリアル店舗・ECとも好調に推移。



1Q売上高
(前年同期比) + 6.4%

チャコット・コスメティクス 【チャコット】

季節限定品「クールシリーズ」が好調に推移。



1Q売上高
(前年同期比) + 17.6%

ペットパラダイス 【クリエイティブヨーコ】

ペットカート等の新規開発商品が高稼働。インバウンド売上も好調に推移。



1Q売上高
(前年同期比) + 10.3%

ここでいったん15ページに移り、ブランド別のハイライトをご説明します。

オンワード樫山で取り扱っている「UNFILO」は、スタートし約3年が経過したブランドですが、「動きやすい、軽い、涼しい」といった機能的な定番素材を活用しつつ、そのアイテムのバリエーションを広げることで、売上高は当第1四半期は前年同期比で、1.7倍と大幅伸長し、事業としても一定のスケールに成長しています。

また、1週間納期のオーダーメイドスーツ、「KASHIYAMA」を取り扱っているオンワードパーソナルスタイルは、デジタル広告を大幅に強化したことにより、新規顧客が増加し、37.4%の大幅増収となりました。

また、基幹ブランドである「23区」も気候変動に対応したトレンド性の高いアイテム、例えばシアートップスやニューディテールボトムなどが好調で、3%の増収を確保しました。

122年の歴史がある「J.PRESS」については、主力商品の投入を厚くしたことにより、リアル店舗、EC共に売上が伸長し、6.4%の増収でした。

アパレル以外のブランドでは、「チャコット・コスメティクス」が展開アイテムを拡大し、季節限定品も好調で、17.6%の増収となりました。

また、ここ数年堅調に業容を拡大しているクリエイティブヨーコ社の「ペットパラダイス」においても、ペットカートやシニア犬向けといったアイテムが顧客ニーズをつかみ、また、インバウンド売上も寄与し、10%の増収となりました。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
514 億円	51 億円	52 億円	40 億円
前年同期比 +2.9% +15億円	前年同期比 Δ5.7% Δ3億円	前年同期比 +6.9% +3億円	前年同期比 +20.1% +7億円

- 1Q期間の売上高は、気候変動に対応した新規企画商品の販売が好調だったことや、OMOサービス「クリック&トライ」の利用が引き続き拡大したことなどから、前年同期比で2.9%の増収となった。
- 特に新規ブランドのUNFILOが74.2%の増収、KASHIYAMAが37.4%の増収、チャコット・コスメティクスが17.6%の増収と大幅に伸長した。基幹ブランドも、23区が2.6%の増収、J.PRESSが6.4%の増収、ペットパラダイスが10.3%の増収となるなど、引き続き堅調に推移した。
- 商品在庫水準の適正化を計画的に進めた結果、1Q期間の売上総利益率は1.4%低下した。賃上げの実施による人件費の増加や広告宣伝費などの増加を、ブランド複合店の拡大による店舗運営の効率化などで補った結果、販管費率は0.4%改善した。
- 大和の会計基準変更の一時的な影響や、卸売事業を中心としたヨーロッパ事業の苦戦もあり、1Q期間の営業利益は5.7%の減益となったが、持分法適用関連会社の業績が好調に推移したことなどから、経常利益は6.9%の増益、当期純利益は20.1%の大幅増益となった。

ここで5ページにお戻りください。

第3パラグラフの、売上総利益率および販管費率のご説明です。

第1四半期において商品在庫水準の適正化を計画的に進めた結果、売上総利益率は1.4%低下しました。

一方で、人的資本投資としての人件費増や、オーダーメイドスーツのオンワードパーソナルスタイルや、「23区」で女優の杏さんを起用するなどの積極的な広告宣伝により、販管費の額は増えましたが、ブランド複合店、主に「オンワード・クローゼットセレクト」の店舗運営効率が向上したことなどにより、販管費率は0.4%改善しました。

それらの結果、営業利益は前期に株式会社大和の会計基準の変更があったことによる当第1四半期への一時的なマイナス影響があったこと、および卸売事業を中心としたヨーロッパ事業の苦戦もあり、5.7%の減益となりましたが、持分法適用関連会社であるウィゴー社の業績が想定よりも好調であったことなどから、営業外損益が改善し、経常利益については6.9%、約3億円、当期純利益は20.1%、約7億円の大幅な増益で着地することができました。

2024年度上期・通期 連結業績予想ハイライト

ONWARD

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
上期	949 億円 前年同期比 +5.0% +45億円	55 億円 前年同期比 +9.5% +5億円	55 億円 前年同期比 +24.7% +11億円	41 億円 前年同期比 +41.5% +12億円
通期	2,000 億円 前年同期比 +5.5% +104億円	125 億円 前年同期比 +11.0% +12億円	122 億円 前年同期比 +20.5% +21億円	83 億円 前年同期比 +24.8% +16億円

- 2Q期間では、気候変動に対応した柔軟な商品戦略と、OMOサービスを活用した顧客本位の販売戦略の継続などにより、前年同期比で増収および全段階利益での黒字転換を予想する。上期累計では、売上高は5.0%の増収、営業利益は9.5%の増益を予想する（期初予想を据え置き）。経常利益は24.7%、当期純利益は41.5%の大幅増益を予想する（期初予想を上方修正）。
- 通期では、今回上方修正した上期の業績予想に期初の下期予想を合算し、売上高は5.5%の増収、営業利益は11.0%の増益、経常利益は20.5%、当期純利益は24.8%の大幅増益を予想する。

6ページの第2四半期期間については、引き続き長く暑い夏といった日本の気候変動に対応した柔軟な商品開発と、店舗における顧客本位のOMOサービスの活用をさらに推し進めることなどにより、前年度第2四半期期間は3.6億円の営業損失でしたが、今年度は全段階利益での黒字転換を予想しています。

その結果、上期累計では、売上高は前年同期比5%、45億円の増収、営業利益は9.5%、5億円増益の期初予想を据え置きます。経常利益については、期初予想から2億円の上方修正を行い、24.7%、11億円の増益、当期純利益は、2.5億円の上方修正で、41.5%、12億円の増益を予想します。



02

2024年度1Q 連結実績

2024年度1Q 連結実績

- 売上高は、前年同期比2.9%増収（+15億円）の514億円。
- 営業利益は、5.7%減益（△3億円）の51億円。
- 当期純利益は、20.1%増益（+7億円）の40億円。
- EBITDAは、4.6%減益（△3億円）の62億円。

(百万円)		1Q実績			
		2024年度	2023年度	増減額	増減率
1	売上高	51,376	49,907	+1,469	+2.9%
2	売上総利益	29,144	28,979	+165	+0.6%
	(対売上高比率)	(56.7%)	(58.1%)		(△ 1.4%)
3	販管費	24,070	23,599	+471	+2.0%
	(対売上高比率)	(46.9%)	(47.3%)		(△ 0.4%)
4	営業利益	5,074	5,380	△ 306	△ 5.7%
	(対売上高比率)	(9.9%)	(10.8%)		(△ 0.9%)
5	経常利益	5,195	4,861	+334	+6.9%
	(対売上高比率)	(10.1%)	(9.7%)		(+0.4%)
6	当期純利益	4,019	3,348	+671	+20.1%
	(対売上高比率)	(7.8%)	(6.7%)		(+1.1%)
7	EBITDA [※]	6,247	6,545	△ 298	△ 4.6%
	(対売上高比率)	(12.2%)	(13.1%)		(△ 0.9%)

※ EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

8ページは第1四半期の連結実績ですが、内訳については次の9ページ、事業会社別実績にてご説明します。

2024年度1Q 事業会社別実績

ONWARD

		1Q実績				
(百万円)		2024年度	2023年度	増減額	増減率	
1	オンワード樫山+HD	売上高	30,523	29,174	+1,349	+4.6%
		営業利益	3,387	3,696	△ 309	△ 8.4%
2	オンワード コーポレートデザイン	売上高	5,201	4,984	+217	+4.4%
		営業利益	710	744	△ 34	△ 4.6%
3	アイランド	売上高	1,432	1,521	△ 89	△ 5.9%
		営業利益	47	17	+30	+176.5%
4	チャコット	売上高	2,607	2,440	+167	+6.8%
		営業利益	290	279	+11	+3.9%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	1,564	1,473	+91	+6.2%
		営業利益	172	121	+51	+42.1%
6	大和	売上高	5,356	5,628	△ 272	△ 4.8%
		営業利益	554	698	△ 144	△ 20.6%
7	国内グループ会社小計	売上高	19,433	18,925	+508	+2.7%
		営業利益	2,173	2,164	+9	+0.4%
8	ヨーロッパ計	売上高	2,638	2,615	+23	+0.9%
		営業利益	△ 313	△ 164	△ 149	↘
9	アメリカ計	売上高	535	441	+94	+21.3%
		営業利益	△ 62	△ 92	+30	↗
10	アジア計	売上高	1,622	1,440	+182	+12.6%
		営業利益	11	5	+6	+120.0%
11	海外グループ会社小計	売上高	4,795	4,496	+299	+6.7%
		営業利益	△ 364	△ 251	△ 113	↘
12	連結合計	売上高	51,376	49,907	+1,469	+2.9%
		営業利益	5,074	5,380	△ 306	△ 5.7%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

※ オンワードコーポレートデザインの前年値は、旧オンワード商事に加え、旧オンワードクリエイティブセンターの数値を含む。

項目番号1番のオンワード樫山では、新規企画商品が好調で、前年同期比で約5%の増収となりましたが、計画的な在庫水準の適正化のため、一時期に3億円の減益となりました。

国内グループ会社では、B to Bのビジネスを展開する、6番のギフトカタログの大和において、会計基準の変更による一時的なマイナス影響と、新規受注獲得が一部第2四半期にずれ込むなどの影響がありましたが、4番のチャコットのコスメ売上が国内、海外共に大幅に伸長したことや、5番のクリエイティブヨーコのバリエーションを拡大したペット用品が、インバウンドを含めて好調だったことなどから、前年同期比2.7%の増収、営業利益は微増益となりました。

海外グループ会社小計では、アメリカの「J.PRESS」のEC売上や、アジアの生産事業が好調だったことなどから、売上高は前年同期比6.7%、3億円の増収でしたが、卸売を中心としたヨーロッパ事業が苦戦したことなどから、約1億円の減益となりました。

以上の結果、連結合計の売上高は2.9%、15億円の増収で、営業利益は5.7%、3億円の減益となりました。

2024年度1Q 販路別売上高

- リアル販路（百貨店+SC他）は、3.6%増収。
- ECは5.2%増収。EC比率は28.0%、自社EC比率は85.3%。

(百万円)	①オンワード樫山				②国内EC対象事業会社7社 [※]				合計 (①+②)			
	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率
1 百貨店 (構成比)	11,915 (39.0%)	12,009 (41.2%)	Δ94 (Δ 2.1%)	Δ0.8% (Δ 2.1%)	2,801 (20.8%)	2,504 (19.2%)	+297 (+1.7%)	+11.9%	14,716 (33.5%)	14,513 (34.4%)	+203 (+0.9%)	+1.4%
2 SC他 (構成比)	10,393 (34.0%)	9,642 (33.0%)	+751 (+1.0%)	+7.8% (+1.0%)	6,519 (48.5%)	6,364 (48.7%)	+155 (Δ 0.2%)	+2.4%	16,912 (38.5%)	16,006 (37.9%)	+906 (+0.6%)	+5.7%
3 リアル販路計 (構成比)	22,308 (73.1%)	21,651 (74.2%)	+657 (Δ 1.1%)	+3.0% (Δ 1.1%)	9,320 (69.4%)	8,868 (67.9%)	+452 (+1.5%)	+5.1%	31,628 (72.0%)	30,519 (72.3%)	+1,109 (Δ 0.3%)	+3.6%
4 自社EC (構成比)	7,019 (23.0%)	6,525 (22.4%)	+494 (+0.6%)	+7.6% (+0.6%)	3,501 (26.1%)	3,581 (27.4%)	Δ80 (Δ 1.4%)	Δ2.2%	10,520 (23.9%)	10,106 (23.9%)	+414 (+0.0%)	+4.1%
5 自社EC比率	85.4%	86.7%	Δ1.3%	85.1%	85.4%	Δ0.3%	85.3%	86.3%	Δ0.9%			
6 他社ECモール (構成比)	1,196 (3.9%)	998 (3.4%)	+198 (+0.5%)	+19.8% (+0.5%)	614 (4.6%)	611 (4.7%)	+3 (Δ 0.1%)	+0.5%	1,810 (4.1%)	1,609 (3.8%)	+201 (+0.3%)	+12.5%
7 EC計 (構成比)	8,215 (26.9%)	7,523 (25.8%)	+692 (+1.1%)	+9.2% (+1.1%)	4,115 (30.6%)	4,192 (32.1%)	Δ77 (Δ 1.5%)	Δ1.8%	12,330 (28.0%)	11,715 (27.7%)	+615 (+0.3%)	+5.2%
8 売上高計 (構成比)	30,523 (100.0%)	29,174 (100.0%)	+1,349	+4.6%	13,435 (100.0%)	13,060 (100.0%)	+375	+2.9%	43,958 (100.0%)	42,234 (100.0%)	+1,724	+4.1%

※ Eコマースを運営している以下国内事業会社7社の合計
(アイランド、ティアクラッセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、KOKOBUY)

10ページは販路別売上高です。

第1四半期の販路別売上高の結果は、リアル販路合計で前年同期比3.6%、11億円の増収となりました。EC合計は5.2%、6億円の増収でした。

リアル販路とECの構成比につきましては、前年と変わらずほぼ7対3で、EC売上における自社EC比率は、85.3%でした。今後もこれらの構成比を維持しつつ、バランス良く売上を伸ばしていく計画です。



03

2024年度上期・通期 連結業績予想

2024年度上期・通期 連結業績予想

—ONWARD—

- 上期の売上高および営業利益予想については期初予想を据え置き、経常利益および当期純利益予想は、持分法適用関連会社の業績改善等により、期初予想を上方修正。
- 経常利益は期初予想から2億円増となる、前年同期比で24.7%増益（+11億円）の55億円、当期純利益は期初予想から2.5億円増となる、41.5%増益（+12億円）の41億円を予想。
- 通期の業績予想は、今回上方修正した上期の業績予想に、期初の下期予想を合算したものの。

(百万円)	上期予想				通期予想			
	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率
1 売上高	94,900	90,411	+4,489	+5.0%	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
2 売上総利益 (対売上高比率)	52,950 (55.8%)	51,152 (56.6%)	+1,798	+3.5% (△ 0.8%)	111,150 (55.6%)	105,782 (55.8%)	+5,368	+5.1% (△ 0.2%)
3 販管費 (対売上高比率)	47,450 (50.0%)	46,130 (51.0%)	+1,320	+2.9% (△ 1.0%)	98,650 (49.3%)	94,522 (49.8%)	+4,128	+4.4% (△ 0.5%)
4 営業利益 (対売上高比率)	5,500 (5.8%)	5,022 (5.6%)	+478	+9.5% (+0.2%)	12,500 (6.3%)	11,260 (5.9%)	+1,240	+11.0% (+0.4%)
5 経常利益 (対売上高比率)	5,500 (5.8%)	4,412 (4.9%)	+1,088	+24.7% (+0.9%)	12,200 (6.1%)	10,126 (5.3%)	+2,074	+20.5% (+0.8%)
6 当期純利益 (対売上高比率)	4,050 (4.3%)	2,862 (3.2%)	+1,188	+41.5% (+1.1%)	8,250 (4.1%)	6,611 (3.5%)	+1,639	+24.8% (+0.6%)
7 EBITDA※ (対売上高比率)	8,000 (8.4%)	7,390 (8.2%)	+610	+8.3% (+0.2%)	17,700 (8.9%)	16,052 (8.5%)	+1,648	+10.3% (+0.4%)

※ EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

12ページは上期および通期の連結業績予想です。

上期業績予想については、先ほど申し上げたとおり、売上と営業利益については据え置き、経常利益と当期純利益は、それぞれ2億円、2.5億円の上方修正となっています。

通期業績予想につきましては、下期予想を据え置いたため、売上高および営業利益は期初予想と同額となり、経常利益と当期純利益については、上期予想と同額の上方修正となっています。

2024年度上期・通期 セグメント別予想

—ONWARD—

- 国内では、上期の売上高は前年同期比5.4%増収（+46億円）、営業利益は6.9%増益（+4億円）と予想。通期の売上高は5.7%増収（+103億円）、営業利益は9.5%増益（+13億円）を見込む。
- 海外では、上期の売上高は12.8%増収（+12億円）、営業損益は6億円改善の予想。通期の売上高は10.2%増収（+20億円）、営業損益は5億円改善し黒字転換を見込む。

(百万円)		上期予想				通期予想				
		2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	
1	国内合計	売上高	90,934	86,311	+4,623	+5.4%	190,332	180,058	+10,274	+5.7%
	営業利益	6,402	5,990	+412	+6.9%	14,410	13,159	+1,251	+9.5%	
2	海外合計	売上高	10,158	9,002	+1,156	+12.8%	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
	営業利益	△ 78	△ 640	+562	↗	321	△ 211	+532	↗	
3	連結合計	売上高	94,900	90,411	+4,489	+5.0%	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
	営業利益	5,500	5,022	+478	+9.5%	12,500	11,260	+1,240	+11.0%	

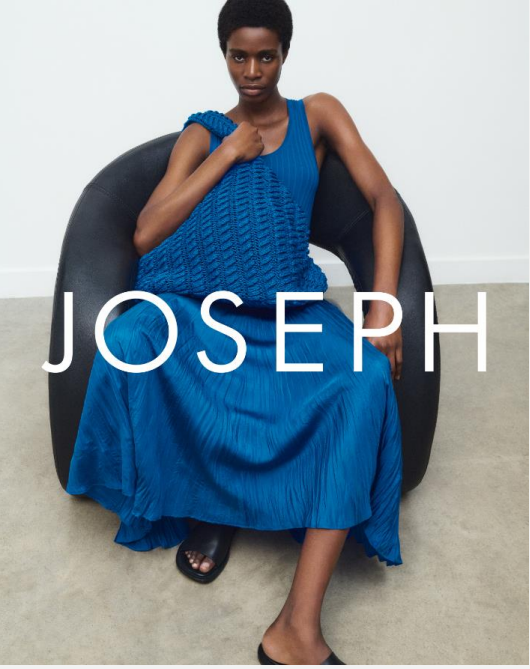
※ 内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

13ページは、上期および通期のセグメント予想です。

国内合計については、上期の売上は前年同期比5.4%、46億円の増収、営業利益は6.9%、4億円の増益を予想します。通期の売上は5.7%、103億円の増収、営業利益は9.5%、13億円の増益を見込みます。

一方海外については、上期の売上は12.8%、12億円の増収、営業利益はまだ赤字ながら6億円の改善を予想しています。通期の売上は10.2%、20億円の増収で、営業損益は5億円改善し、課題であった海外事業の黒字転換を見込んでいます。

以上、経営成績関連のご説明を終わります。



04

TOPICS

UNFILO 【オンワード樫山】

定番素材を使用した商品群に加え、新規企画商品が売上を牽引。



1Q売上高
(前年同期比) + **74.2%**

23区 【オンワード樫山】

トレンド性の高いアイテムが高稼働。



1Q売上高
(前年同期比) + **2.6%**

KASHIYAMA 【オンワードパーソナルスタイル】

デジタル広告によるプロモーション施策により、新規顧客が増加。



1Q売上高
(前年同期比) + **37.4%**

J.PRESS(メンズ・レディス) 【オンワード樫山】

主力商品の投入強化によりリアル店舗・ECとも好調に推移。



1Q売上高
(前年同期比) + **6.4%**

チャコット・コスメティクス 【チャコット】

季節限定品「クールシリーズ」が好調に推移。



1Q売上高
(前年同期比) + **17.6%**

ペットパラダイス 【クリエイティブヨーコ】

ペットカート等の新規開発商品が高稼働。インバウンド売上も好調に推移。



1Q売上高
(前年同期比) + **10.3%**

OMOサービス 「クリック&トライ」

ONWARD

- 「クリック&トライ」サービスの導入店舗数は前年同期末から44店舗増加の404店舗となり、導入率は60%に上昇。
- 予約点数は前年同期比15%増加の8万2千点。
- 導入店舗（既存）の売上高増減率（前年同期比）は未導入店舗を17%上回る。

■ 導入店舗数・予約点数の推移

	2024年度 1Q	2023年度 1Q	増減数
店舗数	404	360	+44
導入率	60%	51%	+9%
予約点数（千点）	82	71	+11

■ 導入店舗・未導入店舗の売上高比較（1Q 同期間対比）

	24/23	24/22	24/21
導入店舗	112%	146%	202%
未導入店舗	95%	115%	165%
差	+17%	+31%	+37%

16ページに記載の、OMOサービスの機能である「クリック&トライ」の状況については、導入店舗を積極的、継続的に拡大中です。当第1四半期末の導入店舗数は前年同期末から44店舗増え、合計404店舗、導入率は60%となりました。「クリック&トライ」を通じた予約点数も8万2,000点と前年同期比で15%増加しています。

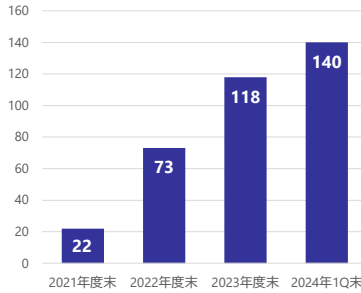
導入店舗と未導入店舗の売上伸長率を比較しますと、当第1四半期では導入店舗が未導入店舗を17%上回って推移しており、今後も継続して導入率を上げていくことにより、売上拡大を図ってまいります。

「オンワード・クローゼットセレクト (OCS)」

ONWARD

- OMOサービス「クリック&トライ」を実装し、オンワード樫山の複数ブランドを取り揃え展開。
- 第1四半期の売上高前年同期比は、OCS以外の既存店舗を13%上回る。
- 2021年から3年で全国140店舗展開（2024年1Q末）。

OCS店舗数の推移



OCS売上高（前年同期比）

	2024年1Q
オンワード・クローゼットセレクト(OCS)	114%
OCS除く店舗	101%
差	+13%



2024年3月オープンのパルクアベニュー・カワトクはオープンから1ヶ月で売上1億円を突破。

17ページは、「オンワード・クローゼットセレクト」の状況になります。

こちらはオンワード樫山のブランド複合店で、「クリック&トライ」機能を持つ店舗の状況です。当第1四半期末では、140店舗まで拡大しています。「オンワード・クローゼットセレクト」店舗の売上伸長率は、単一ブランド店舗を13%上回っており、こちらもOCS店舗の拡大を進めていくことにより、売上の拡大とともに、経費の効率化を図ってまいります。

18ページ以降につきましては、ニューストピックと補足資料になりますので、別途ご参照ください。

以上をもちまして、私からのご説明を終わらせていただきます。ありがとうございます。

ニットシューズブランド『steppi』

—ONWARD—

医療従事者のための多機能ニットシューズが新登場 (オンワード樺山 2024年5月)

発売から約2年、2022年度グッドデザイン賞も受賞したニットシューズ『steppi』。医療に従事される方向けに、整形外科医師と共同で『steppi medical (ステッピ メディカル)』を開発しました。元々の特性である「軽量」「疲れにくい」「撥水・汚れをはじく」「通気性」「洗濯機で洗える」に加え、手を使わずに脱ぎ履きでき、濡れた床でも滑らないグリップ力の強いソールを採用したニットシューズです。



<https://steppi.jp/steppimedical/>

FANCLの新制服の製作と使用済みとなった旧制服を アップサイクル「足を運びたくなるお店」づくりをサポート

(オンワードコーポレートデザイン 2024年5月)

—ONWARD—

株式会社ファンケルの全直営店舗のスタッフが、2024年5月から着用を開始した新制服を製作しました。また、使用済みとなった旧制服の一部は、回収して店舗什器にアップサイクルしていきます。さらに、店舗キャンペーンのプレゼント品の製作も行い、ファンケルの目指す「足を運びたくなるお店」づくりをサポートしています。



<https://onward-cd.co.jp/news/1266/>

steppi

ニットだから、
サンダルがもっと
気持ちよく。



05

補足資料

2024年度上期・通期 事業会社別業績予想



	(百万円)	上期予想				通期予想			
		2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率
1	オンワード樺山+HD	売上高 54,144	51,566	+2,578	+5.0%	114,966	109,491	+5,475	+5.0%
		営業利益 3,412	3,210	+202	+6.3%	8,741	8,189	+552	+6.7%
2	オンワード	売上高 8,634	8,209	+425	+5.2%	18,346	17,188	+1,158	+6.7%
	コーポレートデザイン	営業利益 858	825	+33	+4.0%	1,593	1,485	+108	+7.3%
3	アイランド	売上高 2,922	2,844	+78	+2.7%	6,002	5,716	+286	+5.0%
		営業利益 57	△ 23	+80	↗	99	△ 83	+182	↗
4	チャコット	売上高 5,460	5,059	+401	+7.9%	10,500	9,613	+887	+9.2%
		営業利益 591	565	+26	+4.6%	719	649	+70	+10.8%
5	クリエイティブヨーコ	売上高 3,201	2,969	+232	+7.8%	6,902	6,486	+416	+6.4%
		営業利益 283	235	+48	+20.4%	706	660	+46	+7.0%
6	大和	売上高 11,429	10,592	+837	+7.9%	22,583	21,037	+1,546	+7.3%
		営業利益 843	999	△ 156	△ 15.6%	1,756	1,728	+28	+1.6%
7	国内グループ会社小計	売上高 36,790	34,745	+2,045	+5.9%	75,366	70,567	+4,799	+6.8%
		営業利益 2,990	2,780	+210	+7.6%	5,669	4,970	+699	+14.1%
8	ヨーロッパ計	売上高 5,632	4,832	+800	+16.6%	12,499	11,355	+1,144	+10.1%
		営業利益 4	△ 449	+453	↗	366	156	+210	+134.6%
9	アメリカ計	売上高 1,179	936	+243	+26.0%	2,330	1,890	+440	+23.3%
		営業利益 △ 126	△ 231	+105	↗	△ 145	△ 414	+269	↗
10	アジア計	売上高 3,347	3,234	+113	+3.5%	7,137	6,682	+455	+6.8%
		営業利益 44	40	+4	+10.0%	100	47	+53	+112.8%
11	海外グループ会社小計	売上高 10,158	9,002	+1,156	+12.8%	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
		営業利益 △ 78	△ 640	+562	↗	321	△ 211	+532	↗
12	連結合計	売上高 94,900	90,411	+4,489	+5.0%	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
		営業利益 5,500	5,022	+478	+9.5%	12,500	11,260	+1,240	+11.0%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む
 ※ オンワードコーポレートデザインの前年値には、旧オンワード商事に加え、旧オンワードクリエイティブセンターの数値を含む。

2024年度1Q 連結販管費 / 当期純利益影響項目

ONWARD

(百万円)	2024年度1Q	2023年度1Q	増減率
1 人件費 (対売上高比率)	8,775 (17.1%)	8,637 (17.3%)	+1.6% (△ 0.2%)
2 賃借料 (対売上高比率)	6,998 (13.6%)	6,881 (13.8%)	+1.7% (△ 0.2%)
3 運賃運搬費 (対売上高比率)	1,618 (3.1%)	1,621 (3.2%)	△ 0.2% (△ 0.1%)
4 広告宣伝費 (対売上高比率)	1,667 (3.2%)	1,482 (3.0%)	+12.5% (+0.3%)
5 減価償却費 (対売上高比率)	779 (1.5%)	770 (1.5%)	+1.2% (△ 0.0%)
6 その他 (対売上高比率)	4,233 (8.2%)	4,208 (8.4%)	+0.6% (△ 0.2%)
7 販管費計 (対売上高比率)	24,070 (46.9%)	23,599 (47.3%)	+2.0% (△ 0.4%)

【当期純利益影響項目】

- 持分法による投資利益、為替差益等による営業外収益3億円。
- 支払利息等による営業外費用2億円。
- 関係会社整理損等による特別損失15億円。
- 法人税等は、業績向上により将来課税所得の増加が見込まれ、繰延税金資産の計上に伴い税負担率が低下。
- 以上の結果、当期純利益は40億円となった。

(百万円)	2024年度1Q	2023年度1Q	増減率
8 営業利益	5,074	5,380	△ 5.7%
9 営業外収益	302	120	+151.7%
10 受取利息・配当金	66	35	+88.6%
11 為替差益	71	-	-
12 持分法による投資利益	131	-	-
13 その他	34	85	△ 60.0%
14 営業外費用	181	639	△ 71.7%
15 支払利息	83	176	△ 52.8%
16 為替差損	-	352	-
17 持分法による投資損失	-	2	-
18 その他	98	109	△ 10.1%
19 営業外損益計	121	△ 519	-
20 経常利益	5,195	4,861	+6.9%
21 特別利益	944	-	-
22 固定資産売却益	944	-	-
23 特別損失	1,482	152	+875.0%
24 減損損失	31	152	△ 79.6%
25 関係会社整理損	1,445	-	-
26 その他	6	-	-
27 特別損益	△ 538	△ 152	-
28 税前利益	4,657	4,709	△ 1.1%
29 法人税等	576	1,278	△ 54.9%
30 少数株主損益	62	83	△ 25.3%
31 当期純利益	4,019	3,348	+20.1%

2024年度1Q 連結貸借対照表

	(億円)	2024年度1Q末	2023年度末	増減額
1	資産合計	1,728	1,713	+15
2	流動資産	723	734	△11
3	現金及び預金	133	141	△8
4	売掛金	162	159	+3
5	棚卸資産	380	389	△9
6	固定資産	1,006	979	+27
7	有形固定資産	504	504	+0
8	無形固定資産	93	88	+5
9	投資その他の資産	408	386	+22
10	負債合計	904	863	+41
11	買掛金	207	226	△19
12	借入金	441	376	+65
13	その他	256	261	△5
14	純資産合計	824	849	△25
15	自己資本比率	47.7%	46.6%	+1.1%
16	流動比率	117.1%	117.7%	△0.6%

■ 棚卸資産

在庫水準の適正化を計画的に進めた結果、前年度末に対して△9億円（△2.5%）減少。

■ 無形固定資産

システム投資によるソフトウェアの増加等。

■ 借入金

新規借入による増加。

■ 自己資本比率

自己資本比率47.7%。前年度末より1.1%増加。

■ 流動比率

流動比率117.1%。安全性の目安である100%以上を維持。

2024年度1Q キャッシュ・フロー/設備投資/減価償却費 ONWARD

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益、および棚卸資産の増加などにより14億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより3億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加および配当金の支払い等により2億円の収入。

■ 設備投資

- 設備投資額は前期から8億円増加の18億円。
- DX関連やOMO関連など投資を厳選し、効率的に実施。

(百万円)			
2024年度 1Q	2023年度 1Q	増減額	増減率
1,848	1,075	+773	+71.9%

■ 減価償却費

- 減価償却費は、前期と同水準の10億円。

(百万円)			
2024年度 1Q	2023年度 1Q	増減額	増減率
964	966	△ 2	△ 0.0%

2024年度1Q グループ別実績

		1Q実績			
		2024年度	2023年度	増減額	増減率
(百万円)					
オンワード +H D 樫山	1 売上高	30,523	29,174	+1,349	+4.6%
	2 売上総利益	18,134	18,324	△ 190	△ 1.0%
	(売上比)	(59.4%)	(62.8%)		(△ 3.4%)
	3 販管費	14,747	14,628	+119	+0.8%
(売上比)	(48.3%)	(50.1%)		(△ 1.8%)	
4 営業利益	3,387	3,696	△ 309	△ 8.4%	
(売上比)	(11.1%)	(12.7%)		(△ 1.6%)	
国内グループ 会社小計	5 売上高	19,433	18,925	+508	+2.7%
	6 売上総利益	9,711	9,573	+138	+1.4%
	(売上比)	(50.0%)	(50.6%)		(△ 0.6%)
	7 販管費	7,538	7,409	+129	+1.7%
(売上比)	(38.8%)	(39.1%)		(△ 0.3%)	
8 営業利益	2,173	2,164	+9	+0.4%	
(売上比)	(11.2%)	(11.4%)		(△ 0.2%)	
海外グループ 会社小計	9 売上高	4,795	4,496	+299	+6.7%
	10 売上総利益	2,150	1,984	+166	+8.4%
	(売上比)	(44.8%)	(44.1%)		(+0.7%)
	11 販管費	2,514	2,235	+279	+12.5%
(売上比)	(52.4%)	(49.7%)		(+2.7%)	
12 営業利益	△ 364	△ 251	△ 113	↘	
(売上比)	-	-			

※ 単純合算

2024年度上期・通期 グループ別業績予想

	(百万円)	上期予想				通期予想			
		2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率
1 + H D オッワード + 榎山	売上高	54,144	51,566	+2,578	+5.0%	114,966	109,491	+5,475	+5.0%
	売上総利益 (売上比)	32,002 (59.1%)	31,245 (60.6%)	+757	+2.4% (△ 1.5%)	68,859 (59.9%)	65,428 (59.8%)	+3,431	+5.2% (+0.1%)
	販管費 (売上比)	28,590 (52.8%)	28,035 (54.4%)	+555	+2.0% (△ 1.6%)	60,118 (52.3%)	57,239 (52.3%)	+2,879	+5.0% (+0.0%)
	営業利益 (売上比)	3,412 (6.3%)	3,210 (6.2%)	+202	+6.3% (+0.1%)	8,741 (7.6%)	8,189 (7.5%)	+552	+6.7% (+0.1%)
2 国内グループ + 会社小計	売上高	36,790	34,745	+2,045	+5.9%	75,366	70,567	+4,799	+6.8%
	売上総利益 (売上比)	18,528 (50.4%)	17,626 (50.7%)	+902	+5.1% (△ 0.4%)	37,351 (49.6%)	35,076 (49.7%)	+2,275	+6.5% (△ 0.1%)
	販管費 (売上比)	15,538 (42.2%)	14,846 (42.7%)	+692	+4.7% (△ 0.5%)	31,682 (42.0%)	30,106 (42.7%)	+1,576	+5.2% (△ 0.7%)
	営業利益 (売上比)	2,990 (8.1%)	2,780 (8.0%)	+210	+7.6% (+0.1%)	5,669 (7.5%)	4,970 (7.0%)	+699	+14.1% (+0.5%)
3 海外グループ + 会社小計	売上高	10,158	9,002	+1,156	+12.8%	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
	売上総利益 (売上比)	4,678 (46.1%)	4,047 (45.0%)	+631	+15.6% (+1.1%)	10,174 (46.3%)	9,158 (46.0%)	+1,016	+11.1% (+0.3%)
	販管費 (売上比)	4,756 (46.8%)	4,687 (52.1%)	+69	+1.5% (△ 5.3%)	9,853 (44.9%)	9,369 (47.0%)	+484	+5.2% (△ 2.1%)
	営業利益 (売上比)	△ 78 (-)	△ 640 (-)	+562	↗	321 (1.5%)	△ 211 (-)	+532	↗

※ 単純合算

ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。